





地域にはいろんな伝統行事がありますが、そのと

行事の一つをご紹介します。 きの気候と相まって季節の風物詩となるものが多 いようです。今回は、暑い夏に行われる地域の伝統

△鑵子山

地域

頃には干ばつに見舞われな 内安全を祈願するようにな と、明和5年(1768年) いよう雨乞いが行われ、そ この神社は、記録による 頃から、五穀豊穣、 慶応4年(1868 家

と登ってこられ、 現在に至っています。 暑い中を参拝者が続々 太鼓の

山を登る 照りつける太陽の下、

木立の木の根道を登りま 汗を拭き、息を切らせて桧 うに太陽が照りつける中、 梅雨明けを告げるかのよ

れました。 通り今年も御湯神事が行わ 山の山頂で7月7日、 岩室区で一番高い山鑵子 例年

■急な山道、暑い日にはかなりの重労働

です。 奥に鎮座するのが津嶋神社 鳥居が見えてきます。その 山を登りきったところに

黒に日焼けした元気な子ど 緒に山に登り、 の訪れを肌で感じます。 事がやってくるたびに、 採って食べたり、 この行事が終わると本格

す。 ます。 堂で会食を行います。 もしばし忘れさせてくれま 流の場は時間を忘れ、 もろもろ、話もはずみ、 山頂で交流が繰り広げられ します。 参拝者全員が集まりこもり 鈴の音が山中にこだま 稲や野菜等の生育の 地域の話題、 御湯神事のあとは その他 暑さ

ます。 飯を持ち帰り、家族全員で が行われます。お神酒や赤 区へと移動され同様の神事 いただいて無病息災を祈り やがて神主さんは次の地

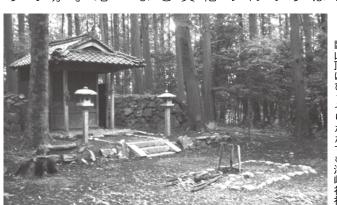
夏の幕開けを告げる

ります。地域では、この行 的な夏に突入することにな 捕まえて遊びました。真っ 以前は、子どもたちも一 木の実を セミなど

> る光景を見ることも風物詩 もたちが、森の中を駆け回 とんど子どもの姿はありま の一つでしたが現在ではほ

せん。

日でした。 して守ってほしいと願う 伝統の行事はいつまでも残 の元気な姿が似合います。 かもしれませんが少し淋し カン照りの太陽には子ども い気もします。やはりカン 休日ではないこともある



▲山頂にひっそりたたずむ津嶋神社